

原構成員コメント資料

・これまでも様々な地方向けの施策がありましたが、ひとつのテーマに多くの大学や企業が参画したので、研究開発内容が散漫になり、大きな成果が得られたとはいえない気がします。地域の企業と大学の『少数精鋭チーム』で長期的な研究開発ができるような施策を提供していただくと良いと思います。チームが纏まることで予想以上の成果が得られるような気がします。

・COIプログラムは、企業が長期プログラムの最初の段階からPLとなり事業化を意識した取り組みができることは画期的であり、最長9年の長期プログラムであり研究者にとっては安心してリスクの高い研究に取り組むことができること、またプラットフォームとして他の制度と連動できることなどの利点があり、ぜひこのような施策を今後も続けていただきたいと思います。ただし、企業に実質的なメリットが少なくリスクが大きく、本当に革新的イノベーションに結びつくのか心配であること、契約対象が大学であり企業PLが権限を持って実行できるのか、また元々は地域でのアンダーワンルーフの考えが、他地域との連携(コアとサテライト)となったが、利害関係の調整に消耗したこと(調整不能で駄目になったところもあると聞く)、次第に規模が縮小されていること、などの問題も挙げられます。

・地域の特長を活かした独特の「のメッカ」(モデル都市)を検討されたいかがでしょうか。これまでのようにたくさんの大学や企業が当初から参加するのではなく、少数精鋭の地域の産学官がコアになって、そこと国内外の一流の機関が連携するという構図があるのではないのでしょうか。国内外から一流機関や企業が集まり、間接的・直接的に地域経済の発展にもつなげる取り組みなのではないかと考えております。

「地域イノベーション戦略支援プログラム」が後押ししていただけるのか？ それとも今までの延長にすぎないのか？

・世界ナンバーワン・オンリーワンの技術に基づいた国際競争力のある産業(製品)を日本から世界へ発信することが肝要であり、省庁連携による、企業も基礎研究段階から参画でき、かつ出口指向も有する長期プロジェクトを期待します。

・今回の施策は小粒に感じます(特に総務省、農水省)。